

「実際に会ってコミュニケーションを取るという事」

ビジュアルデザイン学科 2年 藤島海

私自身、初の海外への渡航で内心かなり緊張していました。台湾の学生たちとは、渡航前に1度しかオンラインでやり取りをしておらず、ちゃんとコミュニケーションが取れるかどうか、ルールやタブーを知らず知らずのうちに破ってしまうのではないか等の不安が募っていました。しかし、渡航後は自分自身を信じて積極的にコミュニケーションを取ったり、普段よりもオーバーなアクションを取る事によって直ぐに台湾の学生たちと打ち解けることができました。

言語というツールを飛び越えた感情的なコミュニケーションにおいては「実際に会う」という点が1番重要で、不安に感じていた空気感やルールはほとんど問題にはなりません。文化や意識の違いには驚いたりもしましたが、それ以上に現地の学生たちの温かさやおもてなしに非常に感動しました。何事にも臆せず取り組む姿勢や心持ちの大切さを学び、会うことで得られる「言語化できない温かみ」を感じることが出来た有意義な初海外でした。

後期プログラムの目標としては、より専門的に台湾についての理解を深め、研究に活かしていきたいと考えています。

